

平成30年度
通 期

事業報告書

2019年6月7日

社会福祉法人すずらんの会

I. 基本理念・経営理念・運営基本方針（下線部：新規または変更事項等）

○基本理念

私達の願いは、地域社会の中で誰もがバリアフリーな暮らしを営む事が出来るようになることです。障害児者福祉の一翼を担う私達は、人の持つ無限の能力を信じ、それが十分に発揮されるような環境作りを目指します。

○経営理念

1. 私達は地域の一員となり、地域と手を携えて福祉の向上に貢献します。
2. 私達は広い視野に立ち、法人活動を通じて有用な福祉サービスを提供することにより、障害のある人たちの社会的自立を応援します。
3. 私達は常に開かれた法人経営を目指し、全てに公正かつ適切であることを誓います。

○平成30年度法人運営基本方針

1. 利用者に、地域社会で、社会の一員としての役割を担いながら生活してもらうために
 - a) 就労支援のさらなる充実（自己実現・社会参加・社会貢献・経済的自立）
 - ①企業就労支援の活発化（就労者輩出・企業開拓・他支援機関との連携）
 - ②福祉的就労支援の活発化（工賃アップ・施設外就労先拡大・作業開拓）
 - b) 地域生活支援のさらなる充実
 - ①ホーム支援体制の整備（職員体制・日中活動事業所との連携・緊急時対応体制の構築）
 - ②ガイドヘルプサービスの提供体制整備（ヘルパーの確保）
 - ③ホームを活用したショートステイ事業の実施
 - c) 全ライフステージをカバーする支援の実現
 - ①高齢化を見据えた事業種の再構築
 - ②送迎サービスの在り方検討
 - ③児童療育体制の運営安定化
2. 利用者が必要とする良質で安定したサービス提供のために
 - a) 利用者ニーズの的確な把握による利用者本位のサービス提供の実現
 - b) 利用者サービス提供に不可欠な職員の確保と育成
 - ①働き甲斐のある職場作り（職場環境整備・職員処遇改善）
 - ②新規学卒職員確保のための新たな取り組みの検討
 - ③職員のスキルアップと支援力の向上（計画的な研修等）
 - c) 委員会活動の活性化による利用者サービスの向上と職員育成
 - d) 利用者サービスに必要な環境の整備（事業所の改修等）
3. 利用者の尊厳を守り、夢や希望・生きがいを大切にするために
 - a) 利用者対応指針の徹底
 - b) 苦情解決システム・虐待防止システムの適切な運用による利用者中心支援の構築
4. 適切かつ持続可能な法人運営のために
 - a) 新たな制度や報酬体系への的確な対応（新設事業の実施：就労定着支援・共生サービス）
 - b) 会計事故再発防止対策の徹底（内部多重チェックの徹底・外部委託確認・事務担当定期異動）
 - c) 制度に則ったサービス提供と自立運営体制の構築
 - d) 新中長期計画の見直し、職員への周知、事業計画への組み込み、及びフレンドの移転検討。
 - e) 新規相談支援体制の適切な運営
 - f) 災害及び事故発生時等の利用者の安全確保とサービス提供体制構築
5. 福祉活動を通じて地域に貢献するために
 - a) 地域における公益的な取り組み事業のさらなる推進
 - b) 地域における福祉への理解の増進のための啓発活動の推進
 - c) 地域への建物等の設備開放検討
 - d) 大規模災害被災時等における地域の避難所としての役割検討

II. 実施事業（下線部：新規または変更事業等）

1. 第二種社会福祉事業

(1-1) 障害福祉サービス事業（障害者総合支援法・児童福祉法）

	事業所名	実施事業名（定員）
①	ワークショップ・フレンド	就労移行支援（26）、自立訓練（生活訓練）（14） 就労定着支援（10月1日開始）
②	<u>相談支援センター・すずらん</u> <u>（名称変更）</u>	特定相談支援、障害児相談支援
③	ワークショップ・SUN	就労継続支援B型（20）
④	ワークショップ・SUN横山	就労継続支援B型（20）
⑤	グリーンハウス	生活介護（20）、就労継続支援B型（40）
⑥	グリーン・コスセンター <u>（H30年12月末で廃止）</u>	特定相談支援
⑦	すずらんの家	生活介護（10）、就労継続支援B型（10）
⑧	タートル	生活介護（20）
⑨	フィルイン	生活介護（20）
⑩	ワークセンターやまと	就労移行支援（6）、就労継続支援B型（14） 就労定着支援（10月1日開始）
⑪	大和市障害者自立支援センター	就労移行支援（20）、 就労定着支援（10月1日開始）、 一般相談支援、特定相談支援、障害児相談支援
⑫	ホームすずらん	共同生活援助（62）
⑬	ぱれっと	児童発達支援・放課後等デイサービス（10）
⑭	ぱれっとやまと	児童発達支援・放課後等デイサービス（10）
⑮	あいあいS	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援

(1-2) 老人居宅介護等事業（介護保険法）

	事業所名	実施事業名
①	あいあいS	ホームヘルパー派遣事業

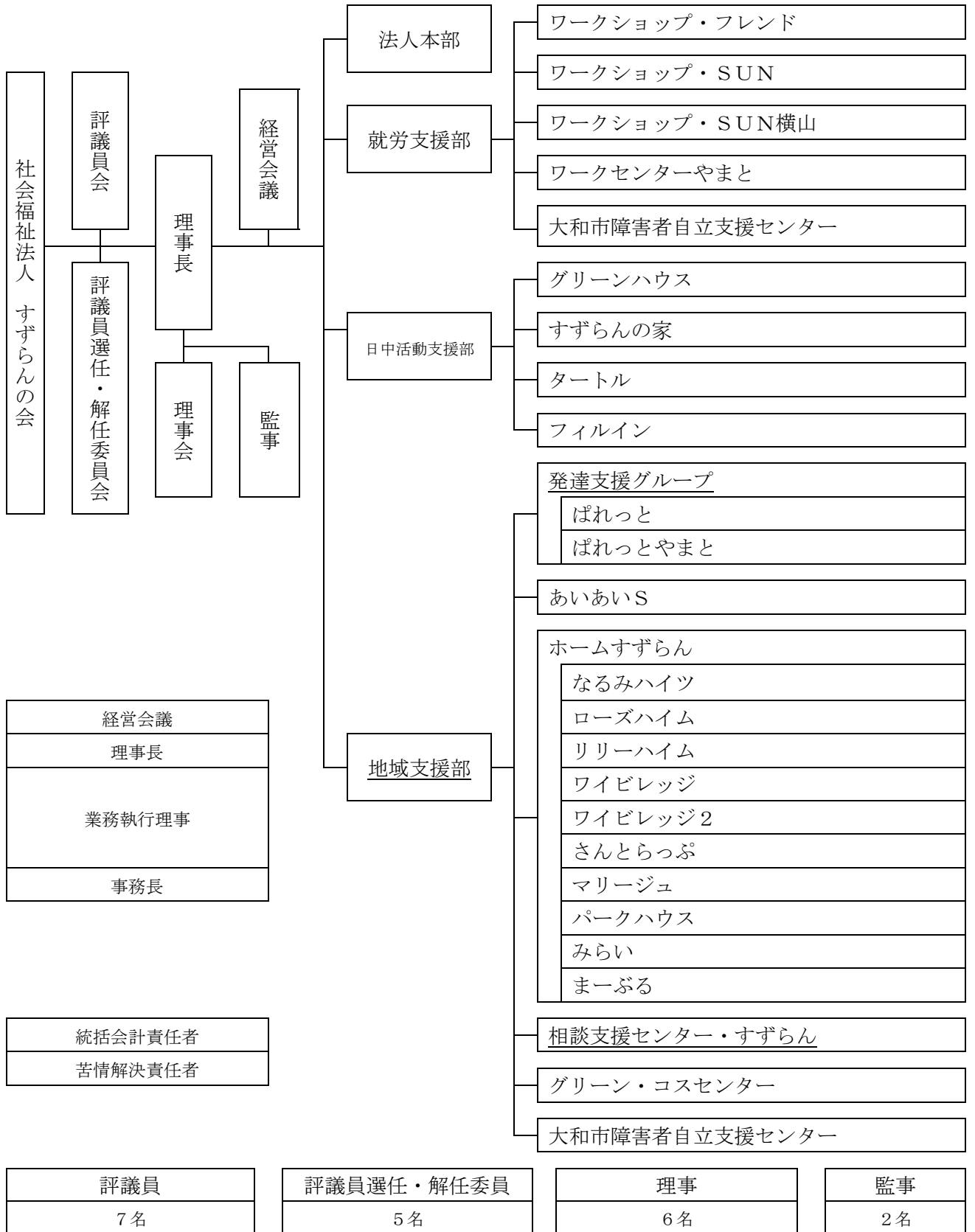
2. 公益事業

	実施事業名等
①	大和市障害者自立支援センターの運営（大和市より指定管理受託）
②	大和市基幹相談支援センター（大和市より受託）
③	大和市虐待防止センター（大和市より受託）
④	居宅介護支援事業（介護保険：ケアプラン作成等）

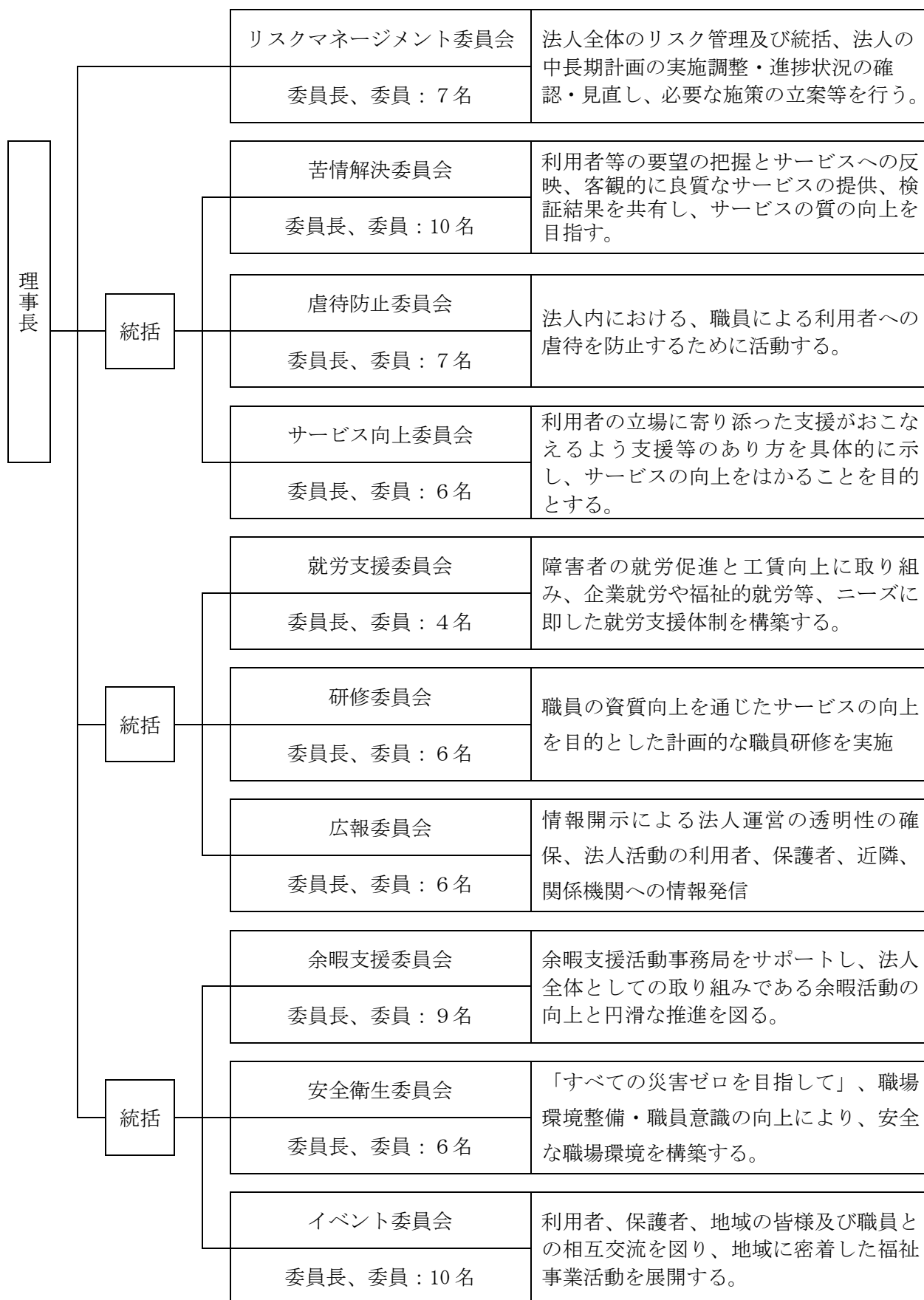
Ⅲ. 実施体制

1. 組織（下線部：変更部分等）

平成30年3月末現在



2. 支援サービス委員会構成（下線部：変更部分）



IV. 評議員会・理事会・イベント等開催状況

1) 評議員会

①平成30年度定時評議員会（第68回）

開催日時	平成30年 6月 8日（金） 14:00～	
開催場所	相模原市民健康文化センター 会議室	
出席者 (敬称略)	評議員	5名（欠席：2名）
	理事	5名（欠席：1名）
	監事	2名
審議事項	議決事項	○平成29年度決算（案）について
	報告事項	○平成29年度事業報告 ○平成29年度監査結果について ○社会福祉充実残額について ○平成30年度事業計画の変更について ○平成30年度補正予算について ○平成30年度定時評議員会の招集について ○フレンド移転用地の購入について

②平成30年度第1回臨時評議員会（第69回）

開催日時	平成30年11月16日（金） 14:00～	
開催場所	相模原市民健康文化センター 会議室	
出席者 (敬称略)	評議員	7名
	理事	5名（欠席：1名）
	監事	1名（欠席：1名）
審議事項	議決事項	○定款変更について
	報告事項	○平成30年度上半期事業実施状況について ○フレンド移転用地の購入について ○次年度の新規事業計画等について ○規程類の改定について ○評議員選任・解任委員会 委員の選任について ○グリーン・コスセンターの廃止について ○次年度からの年度表記について ○相模原市による法人指導監査について ○評議員会の招集について ○理事長・業務執行理事の職務の執行状況報告

③平成30年度第2回臨時評議員会（第70回）

開催日時	平成31年 3月27日（水） 14:00～	
開催場所	相模原市民健康文化センター 会議室	
出席者 （敬称略）	評議員	7名
	理事	6名
	監事	2名
審議事項	議決事項	○2019年度事業計画について ○2019年度予算について ○定款変更について
	報告事項	○規程類の改定について ○指定申請・指定更新・指定変更について ○相模原市による法人指導監査について ○フレンド移転用地の購入について ○グリーンハウス建設資金借入金完済と抵当権の解除 ○評議員会の招集について ○理事長・業務執行理事の職務の執行状況報告

2) 理事会

①第107回理事会

開催日時	平成30年 5月23日（水） 14:00～	
開催場所	相模原市民健康文化センター 会議室	
出席者 （敬称略）	理事	6名
	監事	2名
審議事項	議決事項	○平成29年度事業報告について ○平成29年度決算（案）について ○平成30年度事業計画の変更について ○平成30年度補正予算（案）について ○平成30年度定時評議員会の招集について ○フレンド移転用地の購入について
	報告事項	○平成29年度監査結果について ○社会福祉充実残額について

②第108回理事会（臨時）

開催日時	平成30年 9月14日（金） 18:00～	
開催場所	グリーンハウス 会議室	
出席者 （敬称略）	理事	5名（欠席：1名）
	監事	1名（欠席：1名）
審議事項	議決事項	○最賃改定に伴う非常勤職員給与規程の改定について

③第109回理事会

開催日時	平成30年11月 7日 (水) 14:00～	
開催場所	相模原市民健康文化センター 会議室	
出席者 (敬称略)	理事	6名
	監事	1名 (欠席: 1名)
審議事項	議決事項	<ul style="list-style-type: none"> ○定款変更 (案) について ○規程類の改定について ○評議員選任・解任委員会 委員の選任について ○グリーン・コスセンターの廃止について ○フレンド移転用地の購入について ○次年度の新規事業計画等について ○評議員会の招集について
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○平成30年度上半期事業実施状況について ○次年度からの年度表記について ○相模原市による法人指導監査について ○理事長・業務執行理事の職務の執行状況報告

③第110回理事会

開催日時	平成31年 3月13日 (水) 14:00～	
開催場所	グリーンハウス 会議室	
出席者 (敬称略)	理事	6名
	監事	2名 (欠席: 1名)
審議事項	議決事項	<ul style="list-style-type: none"> ○2019年度事業計画 (案) について ○2019年度予算 (案) について ○規程類の改定について ○評議員会の招集について ○定款変更について
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ○指定申請・指定更新・指定変更について ○相模原市による法人指導監査について ○フレンド移転用地の購入について ○グリーンハウス建設資金借入金完済と抵当権の解除 ○理事長・業務執行理事の職務の執行状況報告

3) 法人イベント

イベント名	開催日	開催場所
サロンコンサート	7月21日(土)	相模原市民健康文化センター
フェスタすずらん 2018	10月27日(土)	グリーンハウス
作品展	12月11日(火)～12月15日(土)	相模原市民健康文化センター
クリスマスライブ	12月15日(土)	相模原市民健康文化センター

4) 年間行事等

年	月	行事等	備考
H30	4		
	5	○理事会(23日)	
	6	○評議員会(8日)	
	7	○サロンコンサート(21日)	
	8	○夏季休暇(13日～17日)	
	9	○全体職員会議(29日)	
	10	○創立記念日(1日) ○フェスタすずらん 2018(27日)	
	11	○理事会(7日) ○評議員会(16日)	
H31	12	○作品展(11日～15日) ○クリスマスライブ(15日) ○冬季休暇(29日～)	
	1	○冬季休暇(～3日)	
	2		
	3	○理事会(13日) ○評議員会(27日) ○全体職員会議(30日)	

V. 制度及び報酬改定への対応

A：総合支援法・介護保険法の一部改定

①就労定着支援の創設（総合支援法）

ア：制度の概要

対象者	就労移行等から一般就労した方
内容	月1回、面談による職場定着支援を実施
利用期限	3年間

イ：下記の通り、指定を受け、運営を開始

対象事業所 (3事業所)	ワークショップ・フレンド、ワークセンター・やまと 大和市障害者自立支援センター
設置年月日	平成30年10月1日に指定を受け、運営開始
運営	それぞれ現状の就労移行支援事業と一体運営
職員配置	管理者・サービス管理責任者・職場定着支援員総て就労移行と兼務

②共生サービスの創設（介護保険法）

ア：制度の概要

対象者	介護保険対象障害者
内容	障害福祉サービス利用者が、介護保険対象となった場合でも、障害福祉サービス事業所が介護保険サービスの指定を受けることにより、引き続き使い慣れた事業所で介護保険サービスが受けられるように、指定基準を緩和する。

イ：対応

制度内容等を検討し、当面実施しないこととした。

B：報酬改定

①予算策定

大幅な改定となり、平成30年度予算編成時までに国から確定した報酬単価の提示が無かったため、平成30年度当初予算は、平成29年度単価で編成し、平成30年5月理事会で補正を実施した。

②個別事業への影響等と対応計画

ア：児童発達支援・放課後等デイサービス（ぱれっと／ぱれっとやまと）

○放課後等デイサービスで、基本報酬減により、報酬が大幅に減額となった。
○今後運営方法等の見直し等を実施。

イ：計画相談支援（相談支援センター・すずらん／グリーン・コスセンター）

○モニタリングの頻度は増加したが、報酬単価が引き下げられた。
○H30年度中に、グリーン・コスセンター（H30年12月末で廃止）を相談支援センター・すずらん（現相談支援センター・フレンド）に統合し、効率運営化を図り、独立した事業所として運営可能な事業か、2019年度に見極めを実施。

ウ：就労移行（ワークショップ・フレンド／ワークセンター・やまと／大和市障害者自立支援センター）

○就労定着支援の創設に伴い、就労移行支援体制加算が廃止された。（収入減）
○基本報酬が、就労定着実績により、7段階に区分された。
○従来収入を確保するため、H30年10月より、就労定着支援の運営を開始した。
○就労定着支援を実施しても、就労定着支援の実務が増加するため、実質的な減収となった。

エ：就労継続支援B型（SUN／SUN横山／グリーンハウス／すずらんの家／ワークセンター・やまと）

○基本報酬が、前年度の工賃水準区分毎に設定され、目標工賃達成加算が廃止され、平均工賃が高い当法人の事業所でも、若干の減収となった。
○就労移行支援体制加算が増額となったため、就労実績のある事業所では増収となった。

VI. 地域における公益的な取組

平成30年度において、地域における公益的な取組を、下記のとおり実施しました。

事業名	実施事業所等	対象者等	実施頻度等	内容
職場定着支援	ワークショップ・フレンド	大和市民及び就労定着支援利用者を除く法人事業所からの一般就労者のうち支援を希望し契約を締結した方。	通年	年会費をいただき、平常時は年1回以上職場等を訪問し、必要時はその都度自宅・会社訪問や面談を行い、就労が継続されるよう、また退職時の相談（会社との調整・障害福祉サービス利用調整・他）等を実施。
障害者就労支援研修	就労支援委員会 研修委員会	本人・家族・企業・学校・障害福祉事業所等	年1回	就労支援に関する啓蒙・促進等を目的とした研修会の開催。
ストーマ装置 預かり事業	大和市障害者自立支援センター	ストーマ装置利用者	通年	自宅以外の場所にもストーマ装置を保管しておき、災害時に自宅の装置が利用できなくなった場合に備える事業。神奈川県オストミー協会県央支部との協定締結
高次脳機能障害者 懇談会	大和市障害者自立支援センター	高次脳機能障害者と家族	月1回 (2時間)	高次脳機能障害者と家族の、気軽に相談したり、くつろげる機会・場として、神奈リハの協力（毎回コーディネーター派遣）を得ながら実施。毎回5～10名が参加
パソコン教室	大和市障害者自立支援センター	障害児者	月2回	インターネット等の普及により、情報弱者となりがちな障害者がPC操作を個別（2対1）で学ぶことができる事業。指導については、専門のインストラクターに委託をし、毎回6～8名が参加

※平成30年度から、地域との交流イベントも対象となるよう地域における公益的な取組の要件が緩和されたため、フェスタすずらん等の地域交流イベントや就労者の余暇支援について、次年度から追加することとした。

Ⅶ. 就労及び工賃実績

平成30年度における就労及び工賃の実績は、下記のとおりでした。

○就労実績

(単位：人)

事業所名		前年実績	計画	通期実績	計画比増減
ワークショップ・フレンド	就労移行	16	20	15※1	-4
ワークショップ・SUN		1	1	1	0
ワークショップ・SUN横山		1	1	0	-1
グリーンハウス		1	1	1	0
すずらの家		0	1	0	-1
ワークセンターやまと	就労移行	4	4	4	0
	就継B	2	1	3	2
大和市障害者自立支援センター	就労移行	8	10	4	-6
	相談	13	15	21	6
合計	就労移行・就継B等合計	33	39	28※1	-10
	相談合計	13	15	21	6
	総合計	46	54	49	-4

※1はチャレンジ雇用による転職者数

○平均工賃実績

(単位：円／人・月)

事業所名	事業	前年実績	計画	通期実績	計画比増減
ワークショップ・フレンド	就労移行	32,700	30,000	38,341	8,341
	生活訓練	33,800	30,000	34,378	4,378
ワークショップ・SUN	就継B	59,527	55,100	51,305	-3,795
ワークショップ・SUN横山	就継B	58,638	55,900	51,207	-4,693
グリーンハウス	就継B	30,444	32,000	30,542	-1,458
	生活介護	19,983	19,000	16,848	-2,152
すずらの家	就継B	27,750	28,500	27,455	-1,045
	生活介護	27,750	28,500	27,455	-1,045
タートル	生活介護	6,313	6,423	6,863	440
フィルイン	生活介護	10,404	11,000	10,709	-291
ワークセンターやまと	就労移行	32,594	33,730	31,294	-2,436
	就継B	25,410	26,425	25,863	-562
大和市障害者自立支援センター	就労移行	18,764	22,000	26,302	4,302

VIII. 事業等実施状況概要

ア：事業等

A：就労支援部門 ワークショップ・フレンド／ワークショップ・SUN／ワークショップ・SUN横山
ワークセンターやまと／大和市障害者自立支援センター（就労移行）

【活動状況】

- フレンド ・職員体制が整わない時期があり、計画通りに就労者輩出が出来なかった。また、新規利用者の確保がすすまず運営面での影響が出た。
- SUN系 ・高工賃支給を維持していく為に、スリーエム社の要望に応えられるよう、休日稼働などで対応し、最大限の努力をして取り組んだ。例年並みの収入を確保することが出来た。一方では、マスク作業においては、受け入れの体制が整わず他企業へ流れてしまった作業があった。SUN施設内では利用者の作業性低下等に伴い収入減となった。
- ワークセンターやまと ・サービス単価の改正により福祉事業収入に影響はあったが、新規利用者が6名だった事で全体の事業収支は問題なかった。利用者の確保と計画的な就労活動による支援が運営に影響を及ぼす結果となった。
- 自立支援センター ・新規利用者の獲得が計画通りに進まず、収支、運営（受注作業、施設外就労）両面において、非常に厳しい状況となっている。また、就労者数についても利用者数が少なかった関係で計画値に至らなかった。

【来期に向けた課題等】

- フレンド ・新規利用者確保のための営業活動にさらに力を入れる。また、実施事業についての見直し等を実施する。
- SUN系 ・利用者の高齢化が目立ってきた。そのため、一日を通して安定して取り組むことが難しくなってきた利用者の活躍の場を確保すること等の検討が必要となってきた。また、スリーエム社におけるシステム変更への対応が必要となってくる。
- ワークセンターやまと ・就労移行支援事業の基本単価が就労定着率の影響により、今年度より低い単価となる。また、新規利用も3名となることから、年度内での中途利用者の確保と計画的な就労活動や定着を見据えた慎重なマッチングを行っていく必要がある。新規事業所の運営についても計画的に相談をしながらすすめていく。
- 自立支援センター ・収支の改善、活力ある運営をしていくためにも、利用率の向上は必須で、新規利用者の獲得を含め、利用率の改善に全力で取り組んでいく。

【活動状況】

○授産活動

グリーンハウス農園芸班、パン班の新規受注先の確保、すずらの家は大口の発注2口などがあった。フィルインはとくに品質管理に重点をおき、フレンドから委託された新しい作業にも取り組んだことで、作業に取り組める利用者が増えた。

タートル、グリーンハウス受注班、活動班は安定した作業量の確保ができず、授産収入予算を大きく下回る結果となった。

○グリーンハウス

利用者の課題改善を目的とした課題別グループ活動、マナー学習、企画したりフレッシュできる日帰り旅行は予定通り実施した。ソーシャルワーク実習、利用実習・見学者の受け入れも随時行った。生活介護事業利用者の運動プログラムの充実と外部講師による運動プログラムの実施も2年目に入りグループを再編成して行った。

○すずらの家

企画した施設行事（土曜企画の外出や創作活動）の実施、看護師による健康チェックを行った。

○タートル

行事企画として、バスハイク（皇居）、グループ外出（スカイツリー、明治神宮、宇宙科学館）、土曜企画（いちご狩り、ハイキング、バーベキュー）等の行事企画は計画通り実施した。

土曜企画時に製作した藍染をピュアハート作品展に出品した。外部講師による音楽療法、エアロビクスも毎週実施しており、充実した活動の取り組みが行えている。

○フィルイン

高齢者施設訪問のボランティア活動と健康管理のために看護師による健康教室、ボランティアにより定期的なストレッチ運動に取り組み始めた。

【来期に向けた課題等】

○グリーンハウス

退所者が多くあった就労継続支援B型事業における新規利用者の確保、効果的なワークの実施を継続することによる支援力の向上、ホーム利用者の担当職員のホーム訪問とホーム職員との意見交換の実施。

生活介護事業（活動班所属の利用者について）においては心身の変化により生産性が減少している。就労継続B型事業利用者の工賃を圧迫している現状が続いているため、時給改定の検討とその説明を利用者・保護者にする必要がある。

○すずらの家

原材料高騰、消費税増税に伴う商品価格改定を行っていく。

利用者の体力維持のための運動プログラムを検討、実施していく。

○タートル

利用者確保に努める。生活介護事業としてのより良い取り組みと年齢を重ねた方の支援について模索を続ける。

○フィルイン

授産活動については、引き続き品質管理への意識を高め、不具合防止に努めていく。

充実した午後の活動を提供する。

C：地域支援部門

ばれっと／ばれっとやまと／あいあいS／ホームすずらん
相談支援センター・すずらん／グリーン・コスセンター
大和市障害者自立支援センター（相談等）

【活動状況】

○発達支援グループ（ばれっと、ばれっとやまと）

療育の内容については計画通り実施できている。報酬単価の激減があり、収入は予算を大幅に下回った。

○ホームすずらん

利用率については、計画を若干下回ったため、収入も予算を下回った。職員の言動や対応に対する苦情（ご意見）を数件受けたため、統括世話人を中心にした各ホームへのサポート体制を充実させることに努めた。

○あいあいS

概ね計画通りに事業を実施できた。また、高齢化を見据えた事業種の構築として、職員2名が介護支援専門員研修受講、資格を取得し、来季以降の体制整備に努めた。

○相談支援センターすずらん

新規事業所の開設に伴い、利用者や行政等への周知や、統合に伴う書式や業務の流れの統一化、地域でのネットワーク構築を行った。職員の退職や異動に伴う混乱も生じたが、徐々に体制が整いつつある。

○大和市障害者自立支援センター

計画相談については、計画通りの実施となった。また、大和市の委託相談についても、概ね計画通りに事業を実施することができており、就労実績（就労相談）については、計画を上回る実績となった。

【来期に向けた課題等】

○発達支援グループ（ばれっと、ばれっとやまと）

収支状況については、報酬改定の影響を大きく受けているため、大幅な収支改善を見込むことはできないが、グループ療育の参加児を増やす等、利用率向上に向けた努力を継続していく。また、学齢児への療育の提供という事業所の使命を果たしながら、持続可能な運営方法・体制を確立していくことについての整理、検討を進めていく。

○ホームすずらん

各ホームの支援力を向上していけるように、統括世話人を中心にした支援体制を更に強化していく。また、各ホーム職員の高齢化が進んでいるため、グループホームの職員体制についての検討も進めていく。その他、短期入所事業を開始するため、混乱なく事業運営を開始できるように努めていく。また、事業運営を行いながら、短期入所事業のあり方等について検討、検証を行っていく。

○あいあいS

各事業要件を満たすための体制整備のため、必要人員を配置しながら、サービスの質の向上、人材育成、人員（ヘルパー）の確保に努めていく。また、介護支援専門員増員に伴う利用者の確保にも努めていく。

○相談支援センターすずらん

適切な相談支援体制の検討・人員配置についての整理・検討を進めながら、苦情につながらないよう丁寧な対応や、事務作業の効率化・工夫を進め、事業の安定運営を図っていく。

○大和市障害者自立支援センター

相談支援事業の業務量（契約・登録者数）が多く、相談員の負担が大きいため、相談支援体制についての検討を大和市と進め、よりきめ細やかな相談支援を実施できる体制を整備していく。

イ：支援サービス委員会

A：リスクマネジメント委員会

【活動状況】

- ・事業所及びサービス委員会の運営状況を確認し、必要な助言等を実施。
- ・報酬改定及び新規事業への対応を検討し、就労定着支援事業の開始等必要な対応を実施。
- ・外部に委託し、定期的な内部監査を実施。
- ・短期入所、WCやまとの移転と自立訓練（生活訓練）事業の追加、フレンド移転、共生サービスへの取り組み等について検討
- ・働き方改革への対応策検討

【来期に向けた課題等】

- ①働き方改革への対応策検討
- ②新処遇改善加算への対応
- ③相模原市運営費補助金改定への対応検討

B：苦情解決委員会／虐待防止委員会／サービス向上委員会

【活動状況】

○苦情解決委員会

担当者変更により、受け付けたご意見の検証から記録の残し方まで処理方法を変更して、処理の流れを整えながら進めた。委員を中心とした、ご意見に対しての考え方など意識あわせを行いながら進めた。

○虐待防止委員会

虐待防止に向けた啓発活動、利用者聴き取り調査（ガイヘル利用者、フレンド追跡調査を含む）、セルフチェック、虐待防止マニュアル制定など計画通り活動した。

○サービス向上委員会

法人内統一書式の改定（個別支援計画・利用者への対応に関する指針・個人情報使用同意書）と全職員に対して効率的に仕事をするための取り組みや工夫についてのアンケート実施及び結果を集約して周知した。

【来期に向けた課題等】

○虐待防止委員会

今年度の活動を継続するとともに、新たな取り組みとして、聴き取り調査には新たに大和市障害者自立支援センターの利用者を対象に追加する。身体拘束最小化へ向けて、支援計画書や記録の整備を行う。

○苦情解決委員会

ご意見が活かされる仕組みづくりと第三者委員を含めた検討会議で出された意見等や具体的な対応策の効果的な周知方法について検討する。

○サービス向上委員会

日中活動事業所とグループホームの連携強化についての検討と国がすすめる働き方改革への法人としての取り組みに関する推進等について検討する。

C：就労支援委員会／研修委員会／広報委員会

【活動状況】

○就労支援委員会

法人内での効率的な就労支援の実施を目的に、各事業所の就労支援状況の情報共有や職場見学会を実施した。また、研修会（地域における公益的な取り組み事業）を実施し、約70名の参加を得ることができた。その他、不整合のある利用者就業規則の見直し等を行った。

○研修委員会

計画通りにフォローアップ研修、内部研修を実施した。また、来季研修計画作成のためのアンケート調査を行い、研修ニーズの高い課題（社会人としてのマナー）を来季研修項目に追加した。

○広報委員会

「きめ細やかなサービス提供に向けた取り組み」を年間の特集テーマとし、広報ずらんを4号発行した。また、法人ホームページの更新時の流れ・ルールを明確にし、スムーズに更新が行われるようフォーマットを作成し、周知、運用を開始した。

【来期に向けた課題等】

○就労支援委員会

法人の就労実績の向上を目的に、就労支援状況の情報共有や職場見学会等を実施していく。また、障害者就労への理解を深めることを目的に地域における公益的な取り組み事業としての研修会を企画・実施する。

○研修委員会

サービスの質の向上や人材育成を目的に、法人の職員育成計画と職員の研修ニーズのバランスを図りながら、必要な研修企画や研修情報の提供を行っていく。

○広報委員会

広報誌の発行やホームページの管理・運用を通して、法人理念や事業活動等についての情報を地域や関係機関に発信し、法人理念や活動についての理解を深めていけるように活動していく。

D：余暇支援委員会／安全衛生委員会／イベント委員会

【活動状況】

○余暇支援委員会

今年度から必要に応じて調整しながら委員の配置を行うことで、活動の改善やサポートに努めた。より細やかな対応と活動の安定に繋がりつつある。

○安全衛生委員会

上期に実施した各エリアの自主点検、総合防災訓練に加えて、緊急時一斉メール配信のマニュアル整備、非常災害発生時行動マニュアルの整備、職員向け安全運転講習会・メンタルヘルス研修を企画、実施した。

○イベント委員会

サロンコンサート、フェスタすずらん2018、ピュアハート作品展、クリスマスライブを企画して、実施した。クリスマスライブ当日に作品展を併催し、集客に繋がった。また、次年度イベントの日程調整を含む会場の確保を行った。

【来期に向けた課題等】

○余暇支援委員会

各サークル活動支援による課題の把握と質の向上

○安全衛生委員会

緊急時ホーム支援体制の構築、緊急時一斉メール登録状況の確認と訓練の実施、車両事故や怪我などへの注意喚起や安全意識の向上

○イベント委員会

予定している企画の確実な実施、借用物管理の徹底